

もう 市民サービスが こんなに削られています!

橋下市長は、大阪市廃止・解体で住民サービスが良くなるように宣伝していますが、公約違反の敬老パスの有料化をはじめ数々の市民サービスをバツサリ、市政改革プランにより3年間で378億円の市民サービスを削減しました。

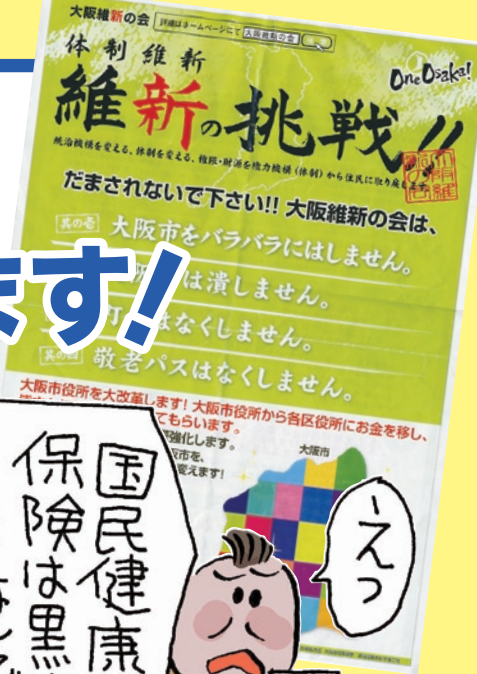
市民は何度もだまされませんよ!

保育士の配置基準を改悪
6億8300万円

保育士が
減らされて...

赤バス廃止
市バスも減る
病院にも困る

国民健康
保険は黒字
のになんて
やのになんて
毎年値上げ
したんや



赤バスの廃止
6億5800万円
敬老パスの本人負担導入
13億6500万円

上下水道福祉減免の廃止 16億5630万円
新婚世帯向け家賃補助の廃止 13億3185万円
文楽協会補助金の削減 2030万円

大阪市の大きな財源・権限を 「暮らし第一」に使って、住みよい大阪を!

橋下市長の実績宣伝はペテン!



橋下市長は「教育・次世代予算を5倍にした」などと宣伝しています。「教育予算」は前市長当時から、横ばいか、減少しています。バウチャー方式の「塾代助成」など自分の都合のよいものを取り出しているだけ、これはペテンです。

歳出総額に占める
「子ども青少年費・教育費」(億円)

